



ゼンハイザー、「Evolution Wireless Digital EW-DX マイクロフォンシリーズ」を補完する Dante 対応レシーバーを発売

2024 年 9 月 24 日

ゼンハイザー・ジャパン株式会社



ゼンハイザー・ジャパン株式会社（代表取締役：宮脇 精一、以下「当社」）は、Evolution Wireless Digital EW-DX マイクロフォンシリーズを補完するレシーバーEW-DX EM 4 Danteを発売します。ネットワーク対応の 4 チャンネルレシーバー（19 インチ、1U）は、ライブオーディオ、ツアー、放送、劇場およびシステム統合などの用途で大規模マルチチャンネルを指定または構成する際の理想的な選択肢となります。このレシーバーは、既存のワークフローおよびインフラストラクチャとシームレスに統合され、Dante を通じた多様な接続（AES 67 対応を含む）によって、audio over IP、バランスオーディオ出力およびアンバランス 1/4 インチジャックに対応します。





ワイヤレス/ビジネスコミュニケーション部門のリードプロダクトマネージャーであるミヒャエル・アルターマーク (Michael Altemark) は、次のように述べています。

「EW-DX の投入により、当社はワイヤレスマイクロフォンの新たな基準を確立し、Evolution Wireless Digital G4 シリーズの重要な後継機器を生み出しました。EM 4 Dante の登場によって、標準がさらに高まり、EW-DX ラインが補完されるようになりました」

プロオーディオ部門の製品管理担当ウルフ・シコラ (Ulf Sikora) は、次のように話しています。

「EW-DX EM 4 Dante では、システム設計者とオペレーターが大規模ワイヤレス構成に求める、コンパクトでスリークなデザインのなかに、高品質なオーディオとスペクトル効率に優れた等距離チャンネルが配置されています」

スペクトルに配慮した操作

EW-DX も、ゼンハイザーのスペクトルに配慮した設計の一例となっています。このシステムは相互変調積を発生させないため、周波数は Link Density (LD) で 600 kHz 間隔または 300 kHz 間隔でサンプルに配置でき、周波数マネージャーの仕事がより簡単になります。88 MHz のスイッチング帯幅により、スペクトルが輻輳した状態でも対応の余地が多くあり、理想的な条件であれば、標準モード (600 kHz 間隔) で最大 146 のチャンネル、あるいは LD モード (300 kHz 間隔) で最大 293 のチャンネルを実装できるようになります。

プロフェッショナルのワークフローを簡素化

このレシーバーのこれまでの設計では、使いやすさを第一の目的としており、最初に着手したのは、現地の電源に対応できる自動切り替え型 PSU の製作でした。最大 4 台の EW-DX EM 4 (最大 16 チャンネル) を追加のデバイスなしで直接ダイジーチェーン接続することができ、アンテナ電源と信号ループスルーを備えた統合型のアンテナ分配器にレシーバーを取り付けることもできます。

ネットワーク対応システムの場合、レシーバーの 4 つのネットワークポートを柔軟に構成することができ、ポートの構成を以下のようにすることができます。Control と Dante Primary の組み合わせ (シングルケーブルモード)、Control と Dante Primary の個別構成 (分離モード)、Control、Dante Primary および Dante Secondary の個別構成 (冗長性モード)。Ethernet 接続は、IPv4 となります。

レシーバーが構成されると、1 台の EW-DX EM 4 Dante を通じて、クイック周波数スキャンを開始できます。そのレシーバーが、EW-DX EM 2 レシーバーおよび EW-DX EM 2 Dante レシーバーを含む、接続されているすべてのレシーバーに空き周波数を割り当てるため、時間と労力の節約になります。また、カスタム周波数リストも、レシーバーにロードできます。

トランスミッターは最大 20 メーター離れた位置から、BLE を通じて簡単に同期させることができるため、オペレーターはラックの前に身をかがめて、レシーバーとトランスミッターを接続する必要がありません。同期のパラメータは、レシーバーのメニューを通じて決めることができます。EW-DX



レシーバーはウォークテストによって、ステージまたはパフォーマンスエリア全体での信号品位をチェックすることもできます。



Bluetooth Low Energy で簡単に同期可能なトランスミッター

リモートでの管理とモニタリングのために、ゼンハイザーでは、Wireless Systems Manager または Sennheiser Control Cockpit のようなネットワーク対応ソフトを用意しています。サードパーティーのメディアコントロールシステムも、SSC Sennheiser Sound Control プロトコルを介して組み込むことができます。最大 16 チャンネルの小規模な構成では、Smart Assist App を通じてシステムを操作することもできます。

EW-DX EM 4 Dante のユーザーインターフェースは、ジョグホイールとコントロールボタン、ならびに理想的な照明環境でない場合でも設定の読み取りを可能にする OLED ディスプレイを通じて、すべての機能に簡単にアクセスできる、優れた構造になっています。Link Quality Indicator は、RF レベルの表示に加えて、RF の健全性についての情報を提供し、フロントパネルの切り替え可能なヘッドフォン出力により、オーディオ信号を監視することができます。

デフォルトの低レイテンシオーディオ

EW-DX では、専用技術の Sennheiser Performance Audio Codec (SePAC) が採用されており、これによって、わずか 1.9 ミリ秒の低レイテンシが可能となります。シコラは、次のように述べています。

「このコーデックは、高性能なオーディオ伝送のために開発されました。体験するオーディオの品質と美しさは、市販のコーデックをはるかに上回っています」

すべてのトランスミッターの入力ダイナミックレンジは 134 dB にもなっているため、自然発生的なパフォーマンスやリハーサルをしていないプレゼンテーションで正しいゲインを見つけなければならないという、プレッシャーに悩まされることもありません。



EW-DX について

EW-DX EM 4 Dante 以外にも、EW-DX ラインには、2つの9.5インチ、2チャンネルのレシーバー（Dante 出力有または無）のほか、さまざまなマイクオプションを備えたハンドヘルドとボディパックのトランスミッター、ワイヤレステーブルスタンド、リモート用および壁付け用のアンテナ、さらに卓上用およびラック取り付け用のさまざまな充電ソリューションが揃っています。

シコラは、「Evolution Wireless Digital EW-DX は、使いやすさを考慮した設計となっており、デジタルワイヤレスマイクロフォンのほぼすべてのニーズに柔軟に対応できる、包括的なポートフォリオを備えています」と述べています。



デジタルワイヤレスマイクロフォンの包括的なポートフォリオを備える
Evolution Wireless Digital EW-DX

Dante は、Audinate Pty. Ltd.の登録商標です。

SPECIFICATIONS

System		EW-DX EM 4 Dante (Rack Receiver)	
Audio link frequency ranges	Q1-9 470.2 - 550 MHz R1-9 520 - 607.8 MHz S1-10 606.2 - 693.8 MHz S2-10 614.2 - 693.8 MHz S4-10 630 - 693.8 MHz U1/5 823.2 - 831.8 MHz & 863.2 - 864.8 MHz V3-4 925.2 - 937.3 MHz V5-7 941.7 - 951.8 MHz & 953.05 - 956.05 MHz & 956.65 - 959.65 MHz Y1-3 1785.2 - 1799.8 MHz	Input voltage	90 - 265 V AC, 47 - 63 Hz
Bluetooth® Low Energy (BLE) frequency range	2402 - 2480 MHz	Power consumption	max. 37 W
Audio frequency response	20 Hz - 20 kHz (-3 dB)	Transmit power (radiated)	BLE: max. 10 mW EIRP
Audio THD	≤ -60 dB for 1 kHz @ -3 dBfs input level	Audio output power	18 dBu max.
Dynamic range	134 dB	Headphone output	2x 70 mW @ 32 Ω
System latency	1.9 ms	Ethernet	• Digital audio output Dante®, RJ-45; 48 kHz, 96 kHz, 24 bit • Daisy chain outputs 2 × BNC (50 Ω), 0 dB +/- 0.5 dB amplification relative to antenna inputs • Daisy-chained receivers (RF), max. 4 EW-DX EM 4 Dante
Operating temperature	-10 °C - +55 °C (14 °F - 131 °F)	Dimensions	483 x 44 x 373 mm (19" x 1.73" x 14.66")
Relative humidity	5 - 95 % (non-condensing)	Weight	approx. 4560 g (10.1 lbs) (without antennas and power supply)



ゼンハイザーブランドについて

オーディオと共に生きるゼンハイザー。世の中を変えるオーディオ製品を作りだすことに情熱を捧げ、オーディオの未来と素晴らしいサウンド体験を築く。これこそが75年以上もの歳月、変わらずに掲げてきたゼンハイザーの意義です。Sennheiser electronic SE & Co. KG はマイク、会議システム、ストリーミング技術、モニタリングシステムなどの様々なプロオーディオ事業を展開しながら、ヘッドホン・イヤホン、サウンドバー、スピーチ-エンハンスヒアラブルデバイスなどの一般消費者向け事業を Sonova Holding AG へのブランドライセンス事業で展開しています。

www.sennheiser.com

www.sennheiser-hearing.com

<本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先>

ゼンハイザージャパン PR 事務局（プレインズ・カンパニー内）

中村・西田・本郷・齋藤

TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp